

政 務 活 動 費 領 収 書 台 帳

会 派 名 無所属	氏 名 衣川 広志	代 表 者 印 	経 理 責 任 者 印 	台 帳 No. 1
☒ 調査研修（研究）費 ☐ 広報広聴費 ☐ 要請・陳情活動費 ☐ 資料費 ☐ 情報通信費 ☐ 人件費 ☐ 事務所費 ☐ 事務費				
摘 要 石井修参加費	政 務 活 動 費 充 当 金 額 20,000 円	精 算 年 月 日 R7・3・31		

領収書等貼付欄

※ガソリン代及び通信料については、領収書等1枚単位につき支払総額の2分の1以内の額（通信料に係る領収書等で、複数月に係る支払額等が記載されているものにあつては、当該各月の支払額等の2分の1以内の額）に対し、政務活動費を充当できるもの

領収データ - 第10回救国シンクタンクセミナー自治体経営研究会

発行日 2025年3月31日

宛名 キヌカワ ヒロシ

合計 ￥20,000

但し チケット代金

注文日 2025年2月23日

注文番号 29394723

主催者 一般社団法人救国シンクタンク（一般社団法人救国シンクタンク）

イベント名 第10回救国シンクタンクセミナー自治体経営研究会



※書類は、重ならないように貼付すること。

旅行命令書

2

次のとおり旅行してよいでしょうか。

代表者	経理責任者
	

起案 7. 3. 4

決裁 7. 3. 5

旅行者

氏名 衣川 広志



用務及び行先		(一社) 救国シンクタンク主催の研修「日米グラスルーツ比較」に参加するため、東京都港区へ旅行するもの							
期 間		令和7年3月30日(日曜日)							
月 日	発地名	経 路	着地名	鉄道賃 船 賃	航空賃 車 賃	日 当	宿泊料	計	
3. 30	長 岡 10:49	とき316号 東京行	東 京 12:28	乗 4,840 特 4,470		1,500		10,810	
	東 京 12:47	JR東海道本線 小田原行	新 橋 12:49					0	
	新 橋 17:59	JR上野東京ライン 水戸行	東 京 18:01	乗 4,840				4,840	
	東 京 18:12	とき337号 新潟行	長 岡 19:44	特 4,470				4,470	
計				18,620	0	1,500	0	20,120	
備 考	(変更理由等)								
概 算 額	20,120円 × 1人 =					20,120円	受領印		
精 算 額							受領印		
追 給 差 引 額 返 納	月 日	円	代表者印		経理責任者印				

復 命 書

令和 7年 3月31日

次のとおり政務活動費により旅行したので復命します。

旅行者氏名印 (代表者)	衣川 広志	
-----------------	-------	---

代表者	経 理 責任者
	

日 時	令和7年 3月30日 14:00~17:45分まで1日間
場 所	TKP 新橋汐留ビジネスセンター
用 件	自治体経営研究会「日米グラスルーツ比較講座」に参加するため
参 加 者 氏 名	衣川 広志
概 要	小山市議会鶴見議員 品川区議会筒井議員 大和市議会星野議員 東京都議会松田議員 より活動成果報告がなされた。 その後救国シンクタンク研究員 渡瀬先生より日米グラスルーツ比較について ご講義をいただく。 詳細は別紙参照。

第10回 救国シンクタンク セミナー報告書

テーマ：日本とアメリカのグラスルーツ運動の違いとその背景

1. グラスルーツとは何か

グラスルーツ（草の根）運動とは、一般市民が自発的に政治や社会問題に参加し、ボトムアップで政策や社会変革を推進する活動を指す。しかし、日本とアメリカではその性質や背景が大きく異なり、それぞれの政治文化や歴史的経緯が影響を与えている。本レポートでは、日本とアメリカのグラスルーツの実態を比較し、その違いを明らかにする。

2. 日本のグラスルーツ：人工芝としての特徴

日本におけるグラスルーツは、メモ書きで「人工芝」と表現されているように、自発的な市民運動というよりも、既存の組織や利益団体が政治的影響力を発揮する形で形成されている。これらは主に政党、特に自民党や野党を支える業界団体や労働組合によって構成される。

2.1 自民党を支えるグラスルーツ

自民党の比例代表選挙では、特定の業界団体が組織票を提供し、選挙戦を支えている。以下は主要な団体の票数（概算）である：

- 全国郵便局長会：約41万票
- 全国建設業協会：約25万票
- 日本医師連盟：約21万票
- 全国農政連：約19万票
- 日本看護連盟：約17万票
- 神道政治連盟：約17万票
- 全国土地改良政治連盟：約15万票
- 日本薬剤師連盟：約13万票
- 全国商工政治連盟：約12万票

その他、防衛関係（約10万票）や立正佼成会（約7万票）など、特定の宗教団体や業界団体が名を連ねる。これらの団体は、業界の利権を守るために自民党を支持し、組織的な動員力を持つ。一方で、これらは市民の自発的な運動というよりも、上意下達の構造を持つ「人工的なグラスルーツ」とみなされる。

2.2 野党系の労働組合

野党を支えるグラスルーツとしては、主に労働組合が挙げられる。特に立憲民主党や国民民主党などの支持基盤として機能する組合の票数は以下の通り：

- 自治労：約17.1万票
- 日教組：約14.4万票
- JP労組：約12.7万票
- UAゼンセン：約21.1万票
- 自動車総連：約23.4万票
- 電力総連：約23.8万票

これらの組合は、労働者の権利擁護を掲げつつも、政治的な影響力を維持するために野党を支援する傾向にある。しかし、自民党系の団体同様、自発性よりも組織力が強調される。

2.3 グラスルーツに支えられていない議員

日本の政治家の中には、タレント議員のように、組織的な支持基盤を持たず、知名度やメディア露出で当選するケースも存在する。これは、日本のグラスルーツが業界団体に依存している一方で、一般市民の自発的参加が少ないことを示している。

3. アメリカのグラスルーツ：多様性と自発性

アメリカでは、日本と異なり、民間主導のグラスルーツ運動が比較的活発である。民主党と共和党それぞれが異なる支持層を持ち、多様な市民団体や企業が政治に影響を与えている。

3.1 民主党を支えるグラスルーツ

民主党はリベラルな政策を掲げ、次のような団体に支持されている：

- 公務員系労働組合：公務員の権利擁護を重視。
- 人種団体：マイノリティの権利向上を求める団体（例：NAACP）。
- 環境団体：気候変動対策を推進（例：シエラクラブ）。
- 大学・教員：教育機関や教員組合（例：NEA）。
- マスメディア：リベラル寄りの報道機関。
- 国務省：外交政策での国際協調を重視。

3.2 共和党を支えるグラスルーツ

共和党は保守的な政策を支持し、次のような団体が基盤となる：

- 中小企業経営者：規制緩和を求める声が高い。
- エネルギー関連企業：化石燃料産業の利権保護。
- 全米ライフル協会（NRA）：銃所持権を擁護。
- 国防総省：軍事力強化を支持。

3.3 政権交代による影響

アメリカでは政権交代が政策に大きな影響を与える。例えば、共和党の大統領就任後、USAID（国際開発庁）の予算が大幅に削減された一方、農家への補助金は共和党の支持基盤である農業団体の利権として維持された。また、環境省予算が31%減、国務省予算が29%減となるなど、保守派の価値観が反映された予算編成が行われた。

3.4 多様なグラスルーツの例

- ティーパーティー：かつて勢力を持ったナショナリスト団体。現在は影響力が低下。
- 反労働組合労働組合：強制的な組合加入に反対する労働者の団体。
- キリスト教系団体：連邦政府の教育介入（例：セックス教育や自虐史観）に反対し、教育庁廃止を主張。ミッション系学校では礼拝が重視されるが、免税措置を巡る政府との対立も存在。
- 農業団体：作物生産の規制緩和を求める。
- ヘルスシェア：保険を民間協会で管理し、政府介入を拒否。

アメリカでは、ラジオやポッドキャストが保守派コミュニティ形成に活用されており、メディアを通じた草の根運動も特徴的である。

4. 日本とアメリカの違いの背景

4.1 文化的・歴史的要因

日本では、キリスト教の影響が少なく、個人の自発性よりも集団主義が政治文化に根付いている。これに対し、アメリカではキリスト教の個人主義や自由主義がグラスルーツの多様性を育んできた。また、日本ではメディアが左派寄りとされる一方、アメリカでは保守派・リベラル派双方のメディアが存在し、意見の対立が明確である。

4.2 人種団体の有無

アメリカには人種問題を背景とした市民団体が存在するが、日本では単一民族意識が強く、同様の団体はほぼ見られない。これは両国の社会構造の大きな違いを反映している。

5. 結論

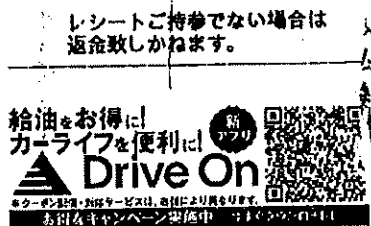
日本のグラスルーツは「人工芝」として、業界団体や労働組合による組織的な支持が中心であり、自発的な市民運動は弱い。一方、アメリカでは多様な市民団体や企業が政治に影響を与え、政権交代によって政策が大きく変動する。日本が真のグラスルーツを育むためには、市民の政治参加を促す文化や仕組みが必要かもしれない。両国の違いは、政治文化や歴史的背景に根ざしており、今後の比較研究がさらに求められる。

政 務 活 動 費 領 収 書 台 帳

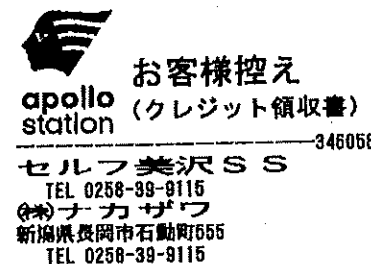
会 派 名 無所属	氏 名 衣川 広志	代 表 者 印 (衣川)	経 理 責 任 者 印 (衣川)	台 帳 No. 3
☒ 調査研修 (研究) 費 ☐ 広報広聴費 ☐ 要請・陳情活動費 ☐ 資料費 ☐ 情報通信費 ☐ 人件費 ☐ 事務所費 ☐ 事務費				
摘 要 ガソリン代	政 務 活 動 費 充 当 金 額 5,000 円	精 算 年 月 日 R7.3.31		

領収書等貼

※ガソリン
料に係る
額等の2



レシートご持参でない場合は
返金致しかねます。



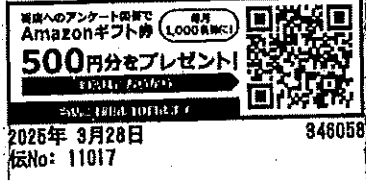
売上 登録番号 T1110001023186
2025年 3月12日 11:02
KINUKAWA HIROSHI 機
クレジット XXXXXX
出光ゼアス P- 7(内)
43.86 L 9171.0 7500円
01200.00

合計 7,500円
(内、消費税等(10.00%) 882円)

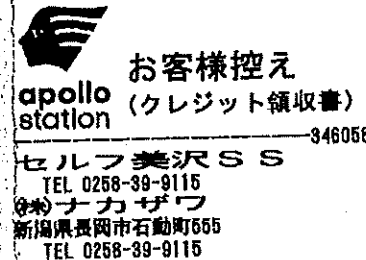
支払区分：一括
承認No. 0000261118
端末識別番号：0817501346058
端末処理通番：07655 ATC：0857
IC/MS識別子：IC
AID:A0000000651010
JCB Credit
カードシーケンス番号：00

伝No: 11013 担当:

レシートご持参でない場合は
返金致しかねます。



レシートご持参でない場合は
返金致しかねます。



売上 登録番号 T1110001023186
2025年 3月28日 10:57
KINUKAWA HIROSHI 機
クレジット XXXXXX
出光ゼアス P- 3(内)
43.86 L 9171.0 7500円
01200.00

合計 7,500円
(内、消費税等(10.00%) 882円)

支払区分：一括
承認No. 0000078264
端末識別番号：0817501346058
端末処理通番：04553 ATC：0850
IC/MS識別子：IC
AID:A0000000651010
JCB Credit
カードシーケンス番号：00

伝No: 11017 担当:

の1以内の額 (通信
は、当該各月の支払

$$7500円 \times \frac{1}{3} = 2500円$$

$$7500円 \times \frac{1}{3} = 2500円$$

$$2500 + 2500 = 5000円$$

※書類は、重

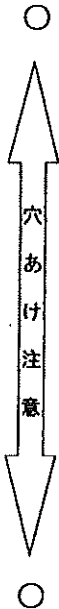
政 務 活 動 費 領 収 書 台 帳

会 派 名 無所属	氏 名 衣 川 広 志	代 表 者 印 (衣川)	経 理 責 任 者 印 (衣川)	台 帳 No. 4
☐ 調査研修（研究）費 ☐ 広報広聴費 ☐ 要請・陳情活動費 ☐ 資料費 ☒ 情報通信費 ☐ 人件費 ☐ 事務所費 ☐ 事務費				
摘 要 タブレット端末通信料 (令和6年度3月分)	政 務 活 動 費 充 当 金 額 1,863 円	精 算 年 月 日 R7・3・31		

領収書等貼付欄

※ガソリン代及び通信料については、領収書等1枚単位につき支払総額の2分の1以内の額（通信料に係る領収書等で、複数月に係る支払額等が記載されているものにあつては、当該各月の支払額等の2分の1以内の額）に対し、政務活動費を充当できるもの

本通信料については、充当額1/2以内の適用除外であるもの



長岡市 領収書

無所属 衣川 広志 様
令和6年度 番号 0237217-001 令和6年度タブレット端末に係る通信料(3月分 1人分)
金額 ¥1,863 円

上記金額を受け取りました。
長岡市会計管理者
(納入者用)

領収日付印欄 4 出 納 7.3.14 第四北越 長岡市役所

※書類は、重ならないように貼付すること。